

当協会では、このたび企業の経営層の方々を対象に「ビジネスと人権」研究会を開催いたします。多様な分野から講師をお招きし、それぞれの分野に通底する「人権」「いのち」の尊さ・危うさを掘り下げていきたいと思っています。日頃は、多忙を極めておられる経営陣の皆様、いったん企業経営者・企業人の枠を離れて、リベラルアーツとして「人権」に向き合い、対話を通して、ビジネスの果たす「人権問題解決」に向けての役割と可能性を改めて考える機会にさせていただければ幸いです。

<座長>

全回登壇



河野 通和 さん
京都橋大学客員教授

講師による講演のあと、本研究会座長を務める河野通和さんと講師との対話を中心に、ご参加の皆様とも質疑応答・意見交換を通じて、より深い学びと発見の機会としていただきます。

<第1回>

2024.

10.17 (木)
15:00 ~ 17:00



なぜ、サステナブル経営に「人権」の視点が重要か
若林 秀樹 さん
THINK Lobby 所長、ビジネスと人権市民社会プラットフォーム 代表幹事
特定非営利活動法人国際協力 NGO センター (JANIC) 理事

<第2回>

2024.

10.31 (木)
15:00 ~ 17:00



人権問題 ~事件、仕事、市民活動から学んだこと~
村木 厚子 さん
社会福祉法人全国社会福祉協議会 会長

<第3回>

2024.

11.13 (水)
15:00 ~ 17:00



分断か共生か？ 日本の未来の分岐点
~外国人労働者の受入れ・移民政策の課題から考える~
鈴木 江理子 さん
国士館大学文学部教授

<第4回>

2024.

11.28 (木)
15:00 ~ 17:00



ジェンダーギャップはなぜなくなるらないのか
小島 慶子 さん
エッセイスト、メディアパーソナリティ
東京大学大学院情報学環客員研究員、昭和女子大学現代ビジネス研究所特別研究員

<第5回>

2024.

12.19 (木)
16:00 ~ 18:00



“うしろめたさ” から考える商いの倫理
松村 圭一郎 さん
岡山大学文学部准教授

第5回のみ16時スタートです。

<第6回>

2025.

1.16 (木)
15:00 ~ 17:00



いのちの可能性を追求するウェルビーイング
稲葉 俊郎 さん
医師・医学博士
慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント (SDM) 特任教授

<最終回>

2025.

1.28 (火)
15:00 ~ 17:00



共助社会と共感経済 ~アダム・スミスを起点として~
堂目 卓生 さん
大阪大学総長補佐、社会ソリューションイニシアティブ長
大学院経済学研究科教授

会場協力：アミタホールディングス株式会社

参加費：200,000円 (税込)

<所在地> 東京都千代田区神田駿河台4-3 新お茶の水ビル12階

当協会会員企業は 150,000円

<最寄駅> JR 中央・総武線「御茶ノ水駅」聖橋口改札すぐ前

※全7回分の参加費です。

東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」直結

※各回ごとのご参加は受け付けておりません。

※参加者の入れ替わりは自由です。(原則として部長相当職以上)

主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会

<参加お申込み>

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 244 区

下記ホームページまたは

TEL : 03-5205-7580 FAX : 03-5205-7585

QRコードをご利用ください。

<https://www.philanthropy.or.jp/exec/>


<登壇者プロフィール> 敬称略

河野 通和 (こうのみちかず)

『婦人公論』『中央公論』編集長、新潮社で季刊誌『考える人』編集長を歴任。2017年4月に株式会社ほぼ日に入社し、「ほぼ日の学校」初代学校長を2021年10月まで務めた後、退社。

現在、京都橘大学客員教授、「たちばな教養学校 Ukon (うこん)」学頭。当協会理事

若林 秀樹 (わかばやし ひでき)

1954年東京生まれ。1976年早稲田大学商学部卒業、1979年ミシガン州立大学大学院農学部林学修士課程修了。ヤマハ株式会社社員(営業・企画)、ヤマハ労組・電機連合役員、外務省在米大使館一等書記官(ODA担当)、民主党参議院議員(比例区)で次の内閣「経済産業大臣」、参院憲法調査会副会長、米戦略国際問題研究所(CSIS)客員研究員、アムネスティ日本事務局長等を歴任、国際人権基準、ビジネスと人権、SDGsに取り組む。グローバルコンパクトネットワークジャパン理事として、「ビジネスと人権」を担当し、2006年から会員を募り、ジュネーブで開催されている国連「ビジネスと人権」フォーラムに団長として参加。外務省「ビジネスと人権」国別行動計画策定のための委員会諮問委員。2019年より「ビジネスと人権市民社会プラットフォーム」代表幹事を務める。

村木 厚子 (むらきあつこ)

1955年高知県生まれ。土佐高校、高知大学卒業。1978年労働省(現厚生労働省)入省。女性政策、障がい者政策、子ども政策などに携わる。2009年、郵便不正事件で有印公文書偽造等の罪に問われ、逮捕・起訴されるも、翌2010年に無罪が確定し復職。2013年から2015年まで厚生労働事務次官。

退官後は住友化学株式会社の社外取締役などを務めている。また、累犯障害者を支援する「共生社会を創る愛の基金」や、生きづらさを抱える若年女性を支援する「若草プロジェクト」の活動にも携わっている。2023年より社会福祉法人全国社会福祉協議会会長を務める。

著書に『日本型組織の病を考える』(角川新書)、『あきらめない』(日経BP社)、『公務員という仕事』(ちくまプリマー新書)

鈴木 江理子 (すずきえりこ)

一橋大学大学院博士課程修了。博士(社会学)。NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク共同代表理事、認定NPO法人多文化共生センター東京理事、一般社団法人かながわ国際交流財団理事、移民政策学会会長等を兼任。移民政策や人口政策を研究するかたわら、外国人支援の現場でも活動。主著に『新版 外国人労働者受け入れを問う』など

小島 慶子 (こじまけいこ)

1972年生まれ。1995年学習院大学法学部政治学科卒業、TBS入社、アナウンサーとしてテレビ・ラジオに出演。1999年第36回ギャラクシー賞ラジオ部門DJパーソナリティー賞受賞。2010年独立、各種メディア出演のほか、執筆・講演活動を精力的に行っている。2014～2023年オーストラリア・パースに教育移住。自身は日本で働き、夫と二人の息子が暮らすパースと往復する生活を送った。2015年～2020年朝日新聞パブリックエディター。2017年から東京大学大学院情報学環客員研究員(メディア表現とダイバーシティ: MeDi)。2019年から昭和女子大学現代ビジネス研究所特別研究員。現在、文化放送「大竹まことのゴールデンラジオ」の火曜レギュラーを務める。

松村 圭一郎 (まつむらけいいちろう)

岡山大学文学部准教授。専門は文化人類学。所有と分配、海外出稼ぎ、市場と国家の関係などについて研究。

著書に『所有と分配の人類学』(ちくま学芸文庫)、『うしろめたさの人類学』(ミシマ社、第72回毎日出版文化賞特別賞)、『くらしのアナキズム』(ミシマ社)、『これからの大学』(春秋社)、『はみだしの人類学』(NHK出版)、『人類学者のレンズ』(西日本新聞社)など、共編著に『文化人類学の思考法』(世界思想社)、『働くことの人類学』(黒鳥社)

稲葉 俊郎 (いなばとしろう)

1979年熊本生まれ。医師、医学博士、作家。東大病院循環器内科助教、軽井沢病院(2022-2024年、病院長)を経て、2024年現在、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント(SDM)特任教授。東北芸術工科大学客員教授(山形ビエンナーレ2020 2022 2024 芸術監督)、武蔵野大学ウェルビーイング学部 客員教授なども兼任。

著書に『いのちを呼びますもの』『いのちは のちの いのちへ』(アノニマ・スタジオ)、『いのちの居場所』(扶桑社)、『ことばのくすり』(大和書房)、『山のメディスン』(ライフサイエンス出版)など。HP: <https://www.toshiroinaba.com/>

堂目 卓生 (どうめたくお)

京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士。2001年より大阪大学教授。専門分野は経済学史、経済思想。Political Economy of Public Finance in Britain 1767-1873 (Routledge / 2004年) で日経・経済図書文化賞、『アダム・スミス―「道徳感情論」と「国富論」の世界』(中央公論新社 / 2008年) で、サントリー学芸賞を受賞。

2019年紫綬褒章受賞。2023年「いのち会議」事業実行委員会副委員長に就任し、2025年の大阪・関西万博で「いのち宣言」を発出する活動を進めている。